

子ども服を通して、子育てを考える

### 「どうぞの気持ち」を次の人へ

子ども服の「次の行き先」について、皆さんはどのように考えますか。「まだ着られるのに処分するのはもったいない」「誰かに着てもらいたいけれど貰い手がない」など、「次」に進むまでにはさまざまな思いや悩みがあるようです。

今号では、着なくなった子ども服を次の人へ譲り渡すイベント「おさがり交換会〜どうぞの服〜」を主催している、「親子でゲーム会」の竹ヶ原 香織代表へお話を伺いました。

### Interview



### 親子でゲーム会 竹ヶ原 香織 代表

「子育てをもっと楽しく」をテーマに、令和4年6月に親子と一緒にアナログゲームを楽しむ体験会「親子でゲーム会」を立ち上げる。同年10月からは、体験会と一緒に「おさがり交換会〜どうぞの服〜」を開催している。

2人の子どもを育てる母親でもあり、農業に従事しながら、同会の代表を務めている。

### Q.「おさがり交換会〜どうぞの服〜」を始めたきっかけを教えてください。

今までは、服を販売しているお店のリサイクル回収や、インターネットを利用した回収サービス、市の衣類回収などを利用してきましたが、回収された服は海外向けに利用されるか、工業製品として利用されていることを知り、「もっと身近で必要としている人に、服を届けられたらいいのに」という思いを抱くようになりました。

そんな折、「十和田子ども食堂実行委員会」さんがテレビで特集されているのを見て、「子どものために、おさがりの場も必要なのではないかな。やってみようかな」と思ったことが行動を起こすきっかけでした。



服のサイズ表示のポップは竹ヶ原さんのお子さん作

### Q.「どうぞの服」の名前の由来は何ですか？

このイベントでは「どうぞのいす」と「ライフ」という二つの絵本の世界を体現できたらいいと考えています。おさがりを通して、一人一人の「どうぞの気持ち」が、次の人へつながって、また次の人へつながっていくような、温かいイベントにしていきたいと考えています。



### ゆっパルの由来

この地方の方言で「結ぶ」という意味の「ゆっばる」と、英語で「仲間・友だち」という意味の「パル」からできています。『一人ひとりの思いが結びついて仲間をつくる』という願いが込められています。

十和田市男女共同参画市民情報誌「ゆっパル」編集委員によるコーナーです。



過去のイベントの様子

### Q. 服の回収を、市内のお店「絵本とサンポ」と「Book & Space 旅空間」でも行っていますが、お店での回収を行うことになった経緯を教えてください。

どちらのお店とも、おさがり交換会を始める前から交流があり、イベントの相談をする中で、服の回収や情報の告知にご協力いただけることになりました。おかげで、お店のお客さんだけでなく、お客さんの友人など身近な人へも伝えてもらうことができ、現在、イベント参加者の裾野が少しずつ広がってきています。

また、私自身が拠点を持たずに活動しているため、おさがり交換会について気軽に話題にできる「窓口役」をお店が担ってくれることで、私と直接つながりがない人でも、当日の会場に行きやすかったり、気軽に連絡をしてもらえたりするのではないかなとも思っています。

### 回収に協力しているお店



絵本とサンポ  
所在地 西四番町7-52-1  
営業時間 火～金曜日  
午前10時～午後3時30分  
※1組限定貸し切り、予約優先。



Book & Space 旅空間  
～ Travel Book Store ～  
所在地 東五番町1-10  
営業時間 月～水曜日 午後1時～5時  
毎月第2土曜日 午前10時～午後2時  
※3月下旬～4月上旬は休業。

※詳しくは、各お店のホームページなどをご確認ください。

### Q. 今後のイベントで考えていることはありますか？

私は「子育てをもっと楽しく」を軸に活動しています。親子でゲーム会もおさがり交換会も、子育てをする中で「あったらいいな」という思いからやってみました。昨年、NPO 法人芸術と遊び創造協会が認定している「おもちゃコンサルタント」という資格を取得しました。今後は、おもちゃに関するイベントも開催したいです。

### Q. これからイベントに参加する人へ、メッセージをお願いします。

十和田で同じ時代に子育てをしている者同士、地域のみみんなでちょっとずつ支え合い、子育てを少しでも楽しい方向にしていきたいと思います！

### ■インタビューを終えて

竹ヶ原代表の「『親子でゲーム会』をやってみよう」と動き出したことで、『やってみたいと思ったことは、とにかくやってみたらいいんだ』と思えるようになりました」という言葉と、「やればやるだけ、人とのつながりも生まれてきました。『どうぞ』でつながり、優しさが循環していくことで、今の子どもたちが大きくなってからも、子育てしやすいまちになっていたらいいな」という言葉が印象的でした。

みんなで、そんな優しさが循環するまちにしていきたいですね。

### ホットな一句



### ◆◆ 編集後記

- 各団体やお店、個人の活動が繋がって新たな活動が生まれている様子が、とてもすてきだと思いました。(O)
- 「もったいない」は日本語だけに存在し、日本の美しい文化を表しているといえます。世界からも称賛される「もったいない」を未来に伝える大切さを学びました。(O)
- ネット化の現代だからこそ、おさがりで心を深める必要性があります。スマホや携帯から離れ、人とのつながりが大切だと思います。(K)
- 私も、人と人がつながって、やさしさが循環する街を子どもたちに手渡したいと思います。(S)
- このような活動をしている団体さんをもっと知り、つなぎ、増やし、地域全体で未来の子どもたちを育てていけたらすてきだと思いました。(M)

### 3月開催の おさがり交換会 ～どうぞの服～

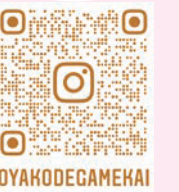
とき 3月12日(日) 午前9時30分～正午、午後1時～4時  
ところ 市民交流プラザ「タワーレ」  
回収対象 サイズ80～160の子ども服

### ■同時開催「親子でゲーム会」

午前は予約優先、午後は予約制でボードゲーム体験会を開催(参加費がかかります)。

※服の回収条件、体験会の予約など詳しくは「親子でゲーム会」のInstagramをご覧ください。ただか、メール(oyakodegamekai.asobo.4@gmail.com)でお問い合わせください。

Instagramはこちら



### 身近な きょうどう さんかく

### 無意識の「こうだ」を考える

毎日の生活の中で、無意識に「こうだ」と思っていることはありませんか。今号では、「新生活や新年度で『こうだ』と思いがちなこと」への向き合い方について編集委員が考えました。

これから新生活を始める皆さん、新しい人を迎え入れる先輩やベテランの皆さん、身の回りにある無意識の「こうだ」について、改めて考えてみませんか。

### ●新年度は明るく元気にスタートしなくちゃ！

無理に頑張ってしまうと、心や体に大きな負担がかかり、後でつらい思いをしてしまうこともあります。また、周りの人へ「もっとやる気(元気)を出して!」と押し付けていないかも気を付けたいですね。

### ●あいさつは新入りからってホント？

「あいさつは新入りからすべきだ」と思っていないでしょうか。あいさつは本来、誰とでも分け隔てなく交わすものです。新入り、先輩、上司など関係なく、誰とでも進んであいさつし合える環境にできたらすてきですね。

編集 十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員

岡崎 大輔、岡田 加寿江、木村 奈生美、新藤 幸子、村井 純麗

発行 総務課 広報男女参画係 ☎51-6702